

03 ど真ん中に市民がいるまち

20周年をみんなでお祝い

市制施行

20周年記念事業

閑 秘書広報課

3月27日(金)に、本市は市制施行20周年を迎えます。そこで、市内全体で20周年をお祝いできるように、今年1年間を「市制施行記念イヤー」と位置づけ、「つくばみらい市 市制施行20周年記念事業」としてさまざまな取り組みを展開していきます。

【ロゴマークとキャッチフレーズ】

令和7年12月、市民の皆さんから募集していた、20周年をお祝いするロゴマークとキャッチフレーズが決定しました。

ロゴマーク



【作品に込められた思い】

ぼくたちが大人になるころも残したいものを描きました。「2」は稲穂です。窓から田んぼ、桜、菜の花、筑波山が見え、ひばりも空を飛び、電車も走る、便利だけど自然豊かな未来のつくばみらい市をイメージしました。

（鈴木 悠斗さん）

キャッチフレーズ

未来へつなぐ、 自然と笑顔が育つまち。

【作品に込められた思い】

つくばみらい市の豊かな自然環境と、そこで育まれる人々の笑顔、そして未来への発展性を表現しています。子育て世代にも魅力的な、希望に満ちた街のイメージを伝えたいという思いを込めてます。

（横塚 麗奈さん）



恒久平和への願いを込めて

戦没者追悼式

閑 社会福祉課

戦後80年を迎えるにあたり、戦争により犠牲となられた方々のご冥福および恒久平和を祈念するため、令和7年10月にセイワ楽器きらくやまふれあいの丘で「つくばみらい市戦没者追悼式」を行いました。本式典には、遺族の方々をはじめ、市内の関係者や市民の皆さんが多数ご参列くださいました。

戦争の記憶やその教訓を未来に継承し、平和で安全な社会を次世代へ引き継いでまいります。

市民が花火を楽しめるように

伊奈庁舎の駐車場で

「庁舎で花火」を開催

閑 財政課

令和7年8月、伊奈庁舎の駐車場を市民に無料で開放し、手持ち花火を楽しめる「庁舎で花火」を開催しました。3回目を迎えたこのイベントでは、2日間で50組188の方が来場し、参加した方たちは「子どもたちが毎年楽しみにしているイベントです！」「来年もぜひ参加したいです！」と話してくれました。